

令和2年度学校評価

飯塚市立高田小学校

1 本校の教育目標

自ら学ぶ意欲をもち 地域を愛し 心豊かに たくましく生きぬく児童の育成

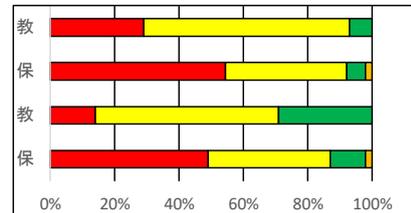
2 本年度の学校経営の重点目標

学校・家庭・地域が協働し、「鍛える、そして、誉める」ことを通して、「進んで考え表現する子ども」を育てる

3 評価項目 (4…できている 3…だいたいできている 2…あまりできていない 1…できていない)

(1) 組織・運営

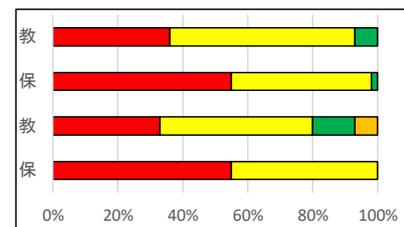
		4	3	2	1	
① 重点目標を実現するために、経営に参画したか。	教	29%	64%	7%	0%	↑
	保	55%	38%	6%	2%	↓
③ 様々な機会を通じて、学校及び学級の経営方針等の啓発や情報提供を行ったか。	教	14%	57%	29%	0%	↓
	保	49%	38%	11%	2%	↓



(2) 教育活動

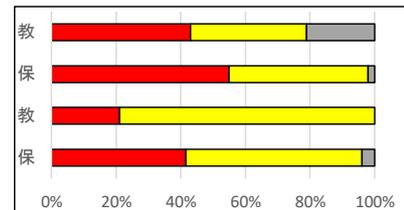
○たくましい子をめざして

① 健康な生活の大切さについて日常的に考えさせ、実践させている。	教	36%	57%	7%	0%	↑
	保	55%	43%	2%	0%	↓
② 体力アップシートを活用し、児童に自発的な運動を促している。	教	33%	47%	13%	7%	↑
	保	55%	45%	0%	0%	



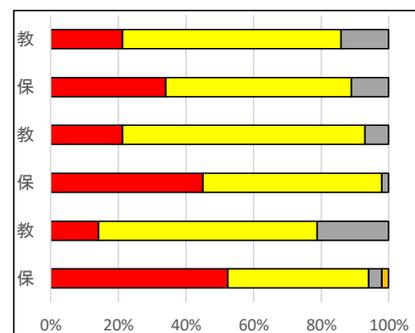
○かしこい子をめざして

① 徹底反復学習や家庭学習の習慣化により、基礎・基本の定着が図られている。	教	43%	36%	21%	0%	↑
	保	55%	43%	2%	0%	
② ICT機器を活用したり、授業に交流の場を位置づけたり、ユニバーサルデザインのし	教	21%	79%	0%	0%	
	保	42%	55%	4%	0%	



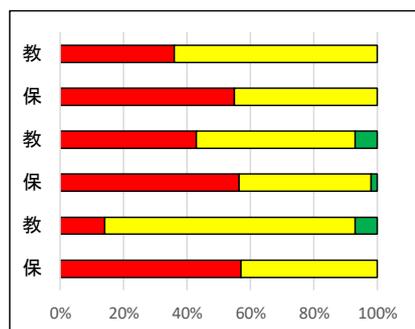
○たすけあう子をめざして

① 自分や友だちのよいところを認め合い、ともに伸びていくことができる。	教	21%	64%	14%	0%	
	保	34%	55%	11%	0%	↓
② 家庭のやくそくや学級力向上プロジェクトの取組を通して、自主性や自立性を高めている。	教	21%	71%	7%	0%	
	保	45%	53%	2%	0%	
③ 道徳教育中心に、社会性や道徳的実践力の伸長を図っている。	教	14%	64%	21%	0%	
	保	53%	42%	4%	2%	



(3) 環境整備その他

① 校舎内、校庭、運動場等は安全面に配慮した整備に努めているか。	教	36%	64%	0%	0%	
	保	55%	45%	0%	0%	↑
② 子どもの作品の掲示など環境づくりに努めているか。	教	43%	50%	7%	0%	↑
	保	57%	42%	2%	0%	↓
③ 環境美化(整理整頓・掃除)に努めているか。	教	14%	79%	7%	0%	↓
	保	57%	43%	0%	0%	↓



※ ↑(前年比+10p以上アップ) ↓(前年比-10p以上ダウン)

4 成果

○コロナ禍の中、本年度の学校行事のほぼ全てが制限・中止となっている中、ほとんどの項目において、保護者からは一定の評価が得られたのではと感じられる。（※前年度比10pアップに↑を付けています。）
○「学校運営協議会・青少対・PTA評議員会」合同会での年間予定をもとに各種行事を実施・検討していく際に、新型コロナウイルスの感染状況をもとに、実施の可否や内容の変更を随時、学校運営協議会・青少対・PTA評議員会の3者で話し合いを持つことができた。

5 課題

(1) 組織・運営

○学校や学級の経営方針等の啓発や情報提供が誌上提案が多く、目的や内容の共有が十分にできていないところがあった。

(※組織・運営に関して、保護者評価が全て昨年比10p以上ダウン)

(2) 教育活動 ○たくましい子をめざして

○「進んで体力向上に取り組ませたか。」

新体力テスト結果から、全国平均と比べて、96項目中、81項目が全国平均を超えた。（昨年度の75項目より向上）。昨年度課題の握力は全項目で全国平均を超えたが、50m走は伸びはみられるものの、課題である。

体力向上の取組では、児童アンケートの結果「週3回以上運動する」「週1～2回以上運動する」が合計87%であり、全体的に取り組みが進んでいると言える。

(2) 教育活動 ○かしこい子をめざして

○「基礎・基本を身に付け、主体的に表現するように取り組ませたか。」

学習意欲を高める取り組みも行っているが、なかなか家庭学習の定着化が難しい。徹底反復学習には毎学期取り組んではいるが、教科指導での基礎・基本的な知識や技術の定着が課題である。

(2) 教育活動 ○たすけあう子をめざして

○「日頃の学校生活を通して、自分や友だちのよいところを認め合い、共に伸びていくことができたか」

年間を通して、縦割りの活動や近接・学年集団づくりを大切にした実践を重ねている。

全校帰りの会や学校帰りの会で、自分や友だちの「いいところ見つけ」ができる子どもが多いが、日常生活の中では、相手に寄り添い、認め合える関係づくりまでには至っていない。

(3) 環境整備その他

コロナ禍の中、①安全面に配慮した整備については、評価が上昇したが、②子どもの作品の掲示など環境づくり、③環境美化（整理整頓・掃除）の2項目いずれも前年に引き続き評価が下回った。特に教師の評価が低い。

6 改善策

「重点目標を実現するために、経営に参画したか。」についての改善策

- 各種合同会や懇談会等を通して、て学校経営方針や各行事とねらいについて知らせ、活動のねらいを共有して参加できるようにする。
- 昨年度、学校の分掌部とPTAの部の活動内容とのねじれの見直しを図った。今後はその調整がいる。

「進んで体力向上に取り組ませたか。」についての改善策

今年度同様、全校帰りの会で、2000点を達成した子どもを表彰したり、給食時間に体育委員会児童による外遊びを呼びかける放送を行う等、児童と教員の外遊びの意識化を図る。また、課題である50m走への取り組みも行っていく必要がある。

「基礎・基本を身に付け、主体的に表現するように取り組ませたか。」についての改善策

本年度も基礎・基本の徹底という視点で評価テストの活用や活用力問題を重点的に取り組むことにしたが、朝学習での100マス計算や言葉力プリントを活用し、基礎・基本の定着を図る。飯塚市のGIGAスクール構想に基づき、ICT機器を活用した授業を多く、取り入れていく。

「日頃の学校生活を通して、自分や友だちのよいところを認め合い、共に伸びていくことができるようになったか。」についての改善策

子どもたちが主体的に評価し、「もっと仲良く、楽しく、安心して生活できる高田小」にするために、どうしたらよいかを考え、行動目標を決めて取り組んでいく「学級力向上プロジェクト」を進めていく。

本年度のまとめを活用しながら、保護者と共に「家庭のやくそく」の取り組みをより充実させていく。

道徳教育を中心に、自分や友だちのよいところを見つけ、さらに認め合うことができる人間関係を目指す。

「環境整備その他」についての改善策

新型コロナウイルス感染拡大防止のための消毒等の環境整備は継続して行っていく。また、昨年度の課題と同様に教室内の掲示や廊下の基礎学力向上につながる掲示や各行事の紹介など、年間を通して、計画的な校内掲示に努める。

来校された保護者や地域の方への情報配信となるように意識した掲示に努める。